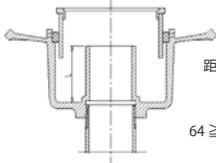


# T5-50RK (椀トラップ補修キット) 施工要領 1/2

## ①事前準備・トラップ立上り筒の測定

挿入筒に使用するスペーサーを選択するため、トラップ立上り筒頂部からトラップ底面までの距離 (L) を測定します。

(注意) スペーサーは標準部品ではありませんので、必要な場合は、事前にご発注ください。



距離 (L)

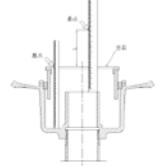
$L \geq 65$	スペーサー不要
$64 \geq L \geq 61$	スペーサー 3 を使用
$L \leq 60$	スペーサー 5 を使用

※測定方法

トラップに目皿をつけた状態で目皿の空隙から定規をトラップ底面まで下ろし、目皿上端と定規との交点を基点とします。

定規の方向を変えずにトラップ立上り筒頂部まで定規を下ろし、基点と目皿上端との距離を測定してください。

この測定値が距離 (L) となります。  
トラップ立上り筒の状態を確認してください。



立上り筒に欠損部がある場合は工程④へ進んでください。欠損部が無い場合は、工程⑤へ進んでください。

## 施工時に必要 又は あると便利なその他の資材

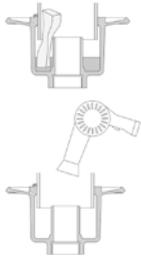
※下記はお客様ご自身でご用意ください。

No	物品	目的
1	スポンジ	トラップ内の水分除去
2	ウェス	汚れ拭き
3	ドライヤー	トラップ内等の乾燥・熱収縮チューブの収縮
4	スプーン	指定接着剤の練り合わせ
5	金尺又は巻尺	トラップ立上り筒の測定
6	ゴム手袋	手の保護
7	はさみ	筒下カバーの切断等
8	保護メガネ	目の保護
9	マスキングテープ	排水トラップの枠のメッキ面の養生
10	ブルーシート	施工箇所廻りの汚れ防止

## ②準備・養生

トラップ挿入筒セットの内容物を確認し、指定接着材・指定パテその他資材を準備ください。

- ・指定接着材 接着コート剤 A・B
- ・指定パテ POR-15 エポキシパテ A・B (オプション)



浴室を養生の上、トラップ内のワンを外しスポンジ等で水を拭き取ってください。  
注意) 排水トラップの枠のメッキ面は特に養生してください。

↓  
ドライヤーでトラップ内部を乾燥させてください。

## ③サビ、ゴミの除去 / 指定接着剤の準備

ワイヤーブラシ等でトラップ内部の浮きサビを落とし、堆積したゴミと一緒に取り除いてください。

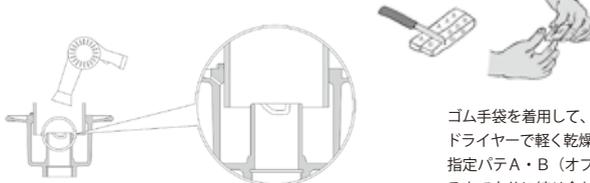
指定接着剤 (白・黒) を専用容器へ取出し色むらが無くなるまで十分に練り合わせてください。(容器の底を確認して下さい)

注意) 直接皮膚に付かないようにゴム手袋をしてください。  
目に入らないように保護メガネをしてください。



注意) 指定接着材・指定パテを使用する前には、必ずトラップ内が乾燥していることを確認してください。  
スプーンなどで混ぜると便利です。

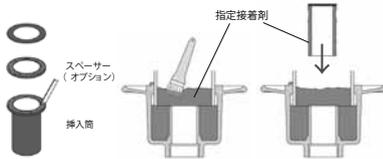
## ④トラップ立上り筒の補修



ゴム手袋を着用して、指定接着剤を欠損部とその傍に塗り、ドライヤーで軽く乾燥させてください。  
指定パテ A・B (オプション) を同量切り取り、色むらが無くなるまで十分に練り合わせ欠損部を補修してください。

# T5-50RK ( 椀トラップ補修キット) 施工要領 2/2

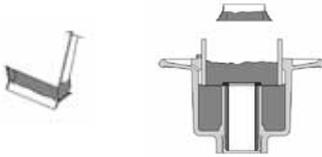
## ⑤挿入筒のセット



挿入筒の上部に指定接着剤を塗布して、トップカバーを取り付けてください。  
スベーサーをご使用の際は、間に挟んで取り付けてください。

トラップ上り筒の外側に指定接着材を塗った挿入筒を差し込んでください。はみ出した指定接着材は、トラップ内部に塗りこんでください。手塗りがやりやすいです。(ゴム手袋着用)

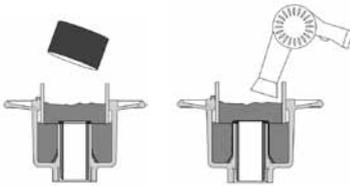
## ⑥筒下カバーのセット



筒下カバーの内側に指定接着剤を充填して、トラップ上り筒にセットしてください。

注意) 筒下カバーの径が排水トラップ本体より小さい場合は、はさみで筒下カバーに切り込みを入れてください。

## ⑦熱収縮チューブのセット



筒下カバー上部に被さるように熱収縮チューブを立ち上がり筒に被せます。

ドライヤーで、温風(弱風)を熱収縮チューブへ均一に当て収縮させ、4時間以上放置してください。  
専用ファンを取り付けて完了です。

注意) 熱収縮チューブの保管に関しては、直射日光および高温(35℃以上)の所に置かないでください。  
熱収縮チューブは回しながら挿入すると入りやすいです。

## 注意事項

注 1	指定接着剤を使用する場合は、必ずゴム手袋をはめて作業してください。また、衣類に付かないよう注意してください。
注 2	指定接着剤を使用する場合は、換気に注意してください。また、使用しない時は必ずふたを閉めてください。
注 3	指定接着剤が目に入った場合は時折まぶたを開けながら、きれいなぬるま湯で15分以上洗浄したのち医療手当てを受けてください。
注 4	作業終了後は手洗いを励行してください